

【建築・電気科3年 建築コース】 実習 トラバース（多辺）測量



令和3年6月、建築・電気科3年建築コースでは、トラバース（多辺）測量を行っています。

トラバース測量とは、ある一点から順番に測量して得られた測点を結合して折れ線を作り、各辺の長さや方位角（北を基準として各辺がどの向きを示しているかを表す角度）を求めることにより、各点の位置を定める測量方法です。

「すでにある基準点」から「新しい基準点」を作る作業には行う手段にトラバース測量が用いられます。

本校実習では、トータルステーション測量機器を使って、生徒たちは学習しています。